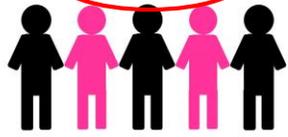


RhoGAP融合遺伝子陽性胃がんが、高いリンパ節転移陽性率とMucrotubular-mucocellular(MTMC) histologyを特徴とすることを明らかにした (2024年6月)

がん研究所病理部
河内洋部長 他

早期胃癌(pT1b)症例

878例



外科切除検体

組織アレイ作製



FISH法

57例(6.5%)の
RhoGAP融合遺伝子陽性
早期胃癌を同定

pT1b: 腫瘍が
粘膜下層に
とどまる
早期胃がん

RhoGAP融合遺伝子陽性の
早期胃癌は
臨床・病理・ゲノムが
互いに関連する一群である

臨床的特徴



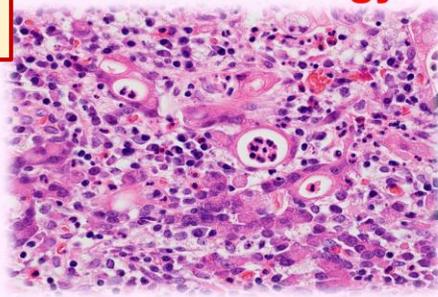
より若年に多い(65歳以下 86%)
女性に多い(64.9%)
リンパ節転移が高頻度(49.1%)

早期胃がんであっても
RhoGAP融合遺伝子陽性例で
は、高頻度(49%)でリンパ節
転移が見られる

RhoGAP融合遺伝子
陽性例に特徴的な
病理組織像を同定

病理学的特徴

MTMC histology

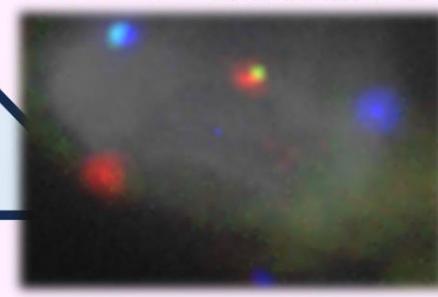


RhoGAP融合遺伝子に対する
高い感度(93.0%)と陰性適中率(99.4%)

RhoGAP fusion
“胃癌の三角”

ゲノム異常

RhoGAP融合遺伝子



CLDN18::ARHGAP26 など
7パターンを検出

RhoGAP融合遺伝子
陰性例では 19%

粘膜内にとどまる
早期胃がん(pT1a)
の解析